

年より乳量で1004トン少ない9752トンで、乳代も6379万円少ない7億4180万9千円となっております。

肉用牛においては、主力の黒毛和牛の素牛販売においては、各生産者の繁殖雌牛の増頭が図られたことから、前年対比68頭増の928頭、販売額3億6977万7千円となっております。

肥育牛販売においては、前年対比12頭増の102頭、販売額8295万9千円となっております。

交雑種においては、素牛では前年対比106頭増の639頭、販売額1億4296万円となっておりますが、肥育牛においては、飼養農家が1戸減少し、前年対比54頭減の38頭、販売額は1918万2千円と前年を2279万2千円ほど下回っております。

次に水産部門ですが、本年11月までの魚種別漁獲状況は、コンブ、カレイ、ナマコなどの漁獲高が大幅に減少したものの、主力の秋サケにおいては漁獲量が前年の85%の452.2トンでしたが、漁獲量不足からキ口当たり単価が前年より高水準に推移したことから販売額は17.4%増の2億4588万4千円であります。

さらに、増殖事業を強化しておりますタコやシヤマ、ナマコ、ブリにおいては漁獲量、販売額ともに前年を上回り、総漁獲高では、前年から17.2%上回る3億7148万8千円となっております。

園児たちは、多くの保護者や祖父母、地域の方々が見守る中、町民ホールステージ一杯に日頃の教育・保育活動の成果を表現しておりました。

また、おゆうぎ会で発表した演目を恵寿荘やあいあい荘の入所者の方々にも見て頂くため、それぞれの施設を訪問し、高齢者との交流を深めております。

2点目は、幼・小・中の連携についてですが、10月23日には、年長組の園児が、新冠小学校の学習発表会を見学し、小学校の雰囲気慣れる取組みを行ったほか、新冠中学校の3年生がド・レ・ミを訪れ、絵本の読み聞かせや折り紙の指導などの保育実習を行い、園児・中学生とともに貴重な体験・交流の場となりました。

このほか、保育士が、新冠小学校の参観日に参加し、保育所卒園児の授業の様子を参観するなど、幼・小・中の連携を深めております。

社会教育の推進について

9月22日、レ・コード館におきまして、開町130年・町制施行50年記念事業「昭和音楽大学オーケストラコンサート」を実施いたしました。

昭和音楽大学の学生・講師、52名によるオーケストラ「運命」の演奏は、大きな感動を呼び、成功裏に終了しております。

また、12月2日、札幌市資料館から総

ります。

断水事故の経過と事故防止の町の対応について

配水管破損による断水事故、2件について報告いたします。これは、いずれも北海道電力株式会社発注の電気供給工事に伴う建柱作業中に発生したものでございます。

工事の元請け業者は、北海電気工事株式会社でその下請け業者の株式会社新興電気が現場での工事を実施しておりました。

9月3日の朝日地区、11月21日の高江地区の断水事故両方とも、同様な工事中に発生したものでございます。両地区の断水時間は、約3時間にわたりました。

朝日地区の断水事故現場において、担当課長より株式会社新興電気の現場責任者に対して、工事実施前に必ず役場担当課に水道管に関する状況を確認するとともに、併せて現場において試験掘を行い作業するように口答指導をいたしました。

その後、前回の指導にもかかわらず、高江地区において同様の電気供給工事に伴う建柱作業中に配水管を破損し断水を生じさせ町民生活、営農に多大の支障を及ぼしました。

町民のライフラインである水道施設を維持管理し水道を断水することなく安定的に給水することは、水道管理者

建85周年事業としての依頼を受け、出張レコードコンサートを実施いたしました。

次に社会教育委員の活動についてであります。10月19日、日高管内社会教育委員連絡協議会の研修会をレ・コード館において実施いたしました。北海道社会教育委員協議会から出された提言についての研修を深めるとともに、実践発表では当町の青年活動の取組や放課後子ども教室の開設、地域における社会教育活動として当町の各社会教育委員より発表しております。

3点目に青少年の取組についてです。11月8日から4泊5日の日程により、判官館青年の家において「学び・遊ぶ・つうがく合宿」を実施いたしました。

新冠小学校、朝日小学校の4、5年生28名が参加し、早寝早起きの生活習慣を身に付けること、自分のことは自分でしっかりとすることを基本に、様々な体験学習を行いました。

4点目は、社会体育ですが、新冠町体育協会が主体となり、8月28日の北海道マラソンに挑戦から約1か月をスポーツ月間とし、ウォーキングラリーやテニソン大会等を実施するとともに、体育の日記念事業としてソフトボール、ミニバレーなど実施し、延べ約500名の参加がありました。

5点目は、図書プラザ事業による取組ですが、10月27日からの読書週間中には、北海道出身の作家の図書を展示

である新冠町の責務でありますので、今後の事故再発防止を期することが重要であることから、12月8日、関係会社3社の代表及び責任者を招集し、工事実施にあたっては、水道管理者である新冠町と綿密な連携を図ることを厳守すべしとの文書により厳重注意を申し渡しました。

いずれにいたしましても、電気事業も水道事業も町民の生活に不可欠なライフラインであることは明確であり、関係の3社においても、事故再発防止に関して社内管理を徹底する旨の回答を得ております。

今後、今回の断水事故を教訓として、関係会社へ強く指導をするとともに、併せて、町民のライフラインである水道を安定的に給水することに努めてまいりますので、ご理解をいただきたいと思います。

教育長行政報告

学校教育の活動について

1つ目は、全国学力・学習状況調査の実施についてであります。今年度は、東日本大震災の影響により、全国的な調査は実施が見送られ、問題用紙の配布に留まることとなりましたが、道教委では、問題用紙を活用した全道調査を実施することとなり、当町では9月

に各小中学校において実施いたしました。

調査結果については、現在、道教委において取りまとめ中であり、今月下旬、冬休み前までに報告がなされる予定となっております。

2つ目は、日高教育局の指導主事による学校訪問についてであります。

朝日小学校は10月6日、新冠小学校は10月27日、新冠中学校は11月28日に実施され、全体研修においては、指導技術向上に向けた取組と、各校の研究課題に即した研修等、学校の抱える研修課題解決に向け指導主事を有効に活用したものとなりました。

2点目は、豊かな心身の育成についてであります。

新冠小学校では10月21日に学習発表会が、朝日小学校では10月22日に学芸会が行われました。

また、新冠中学校では、10月5、6日に学校祭が行われ、第2日目では、今年もレ・コード館のステージで吹奏楽部の演奏と合唱コンクールが行われ、平日にも関わらず来場頂いた、多くの保護者や地域の方々から声援を受けた生徒たちの真剣な姿がありました。

新冠町立認定こども園ド・レ・ミの教育・保育について

11月19日、ド・レ・ミとして初のおゆうぎ会をレ・コード館において開催しました。

ジに公表をいたしました。

評価内容について、内部で協議を進め、改善できるものについてはすみやかに対応しておりますが、評価の低い項目については、課題の解決に向け、教育委員会の活動の活性化を図りながら、来年度の施策にしっかりと位置付けて取り組んでまいりたいと思っておりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

条例

- 新冠町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 新冠町立地域保育所条例を廃止する条例
- 新冠町和牛センター条例の制定
- 新冠町牧野条例の一部を改正する条例

意見書

- 軽油引取税の免税等に関する意見書
 - 環太平洋経済連携協定に反対する意見書
 - 森林・林業・材産業施策の積極的な展開に関する意見書
- 以上の意見書案の採択、原案を可決しました。